

RVW  
150



# ヴォーン・ウィリアムズ 生誕150周年

小町碧 出版記念リサイタル

VAUGHAN WILLIAMS: 150TH ANNIVERSARY RECITAL

イギリスの心を奏でた国民的作曲家  
民謡から未知の世界へ

2022年 **10月31日(月)**

銀座 王子ホール 【地下鉄 銀座駅下車  
A12出口から徒歩1分】

19:00 開演 / 18:15 開場

全席指定 5,000円(税込)

レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ (1872~1958)

曲 グリーンスリーブズによる幻想曲 (編曲: ムリナー)

目 Fantasia on Greensleeves (arr. Mullinar)

『旅の歌』より第7曲「私はどこへさすらうのか?」

Songs of Travel: 'Wither must I wander?'

『命の家』より第2曲「静寂の真昼」

The House of Life: No.2 Silent Noon

ピアノのための「山の湖」

The Lake in the Mountains for piano

揚げひばり (ヴァイオリンとピアノ版)

The Lark Ascending

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ短調

Sonata for Violin and Piano in A minor

◆ 先行予約: 8月中旬よりMotion Galleryにて受付開始

◆ 一般発売: 2022年8月29日(月)

[チケットお取り扱い]

● 王子ホールチケットセンター:

03-3567-9990(月曜~金曜10:00-18:00/定休日 土・日曜日・祝日)  
www.ojihall.jp

● イープラス: <https://eplus.jp>

● 「ヴォーン・ウィリアムズ・プロジェクト」クラウドファンディング、  
Motion Gallery: <https://motion-gallery.net>

お問い合わせ先: Eアーツカンパニー [info@earts.jp](mailto:info@earts.jp)

主催: RVWプロジェクト実行委員会

後援: プリティッシュ・カウンシル、一般社団法人日英協会



**小町碧** (ヴァイオリン)

Midori Komachi, violin

**加藤昌則** (ピアノ)

Masanori Kato, piano



**林田直樹**

(音楽ジャーナリスト・評論家)

「ヴォーン・ウィリアムズ・プロジェクト」プロデューサー、林田直樹と共にトーク・コーナーもあります!

# ヴォーン・ウィリアムズ 生誕150周年

VAUGHAN WILLIAMS: 150TH ANNIVERSARY RECITAL

## 小町碧 出版記念リサイタル

R. Vaughan Williams



Vaughan Williams with his cat Foxy, 1947

2022年、生誕150周年を迎えるイギリスの大作曲家、レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ（1872～1958）。彼は生涯にわたり800曲以上のイギリス民謡を収集し、独自の「イギリス音楽」を確立させました。その音楽は、国土に根づいた「人々のための音楽」として国民の心を掴み、同時に新たな表現の世界へ発展しました。

本公演では、イギリスで最も愛されてきた代表作「揚げひばり」、「グリーンズリーヴズによる幻想曲」をはじめ、歌曲、ピアノ独奏曲「山の湖」、今回が日本初演と思われるヴァイオリン・ソナタ、さらにトークでは交響曲についても触れるなど、ヴォーン・ウィリアムズの多面的で豊かな世界を様々な角度から紹介します。

田園的情趣だけではない、イギリスの魂を体現した音楽 —— 演奏と解説と共に、その世界をたっぷりお楽しみください！

### 2022年秋刊行

気鋭のジャーナリストが描いた評伝。  
日本語で読める初の伝記本、遂に出版！

書籍『レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ』

サイモン・ヘファー | 著

小町碧 / 高橋宣也 | 訳 加藤昌則 | 寄稿

アルテスパブリッシング

### ヴォーン・ウィリアムズ・プロジェクト

#### ● 先行予約キャンペーン (8月中旬より実施予定)

クラウドファンディングにて、本公演のチケットや書籍を先行予約頂けます！  
特別なコンテンツ配信もあります。詳しくは「ヴォーン・ウィリアムズ・プロジェクト」のサイトをご覧ください！

#### ● 先行予約お申し込み: クラウドファンディング

「Motion Gallery」 <https://motion-gallery.net>



### プロフィール



#### 小町碧 (ヴァイオリン)

ロンドン在住。近年は演奏、作曲、執筆、レクチャー、テレビ・ラジオ出演など、多方面で活躍中。12歳でチューリヒ室内管弦楽団と共演してデビュー。以来、Tonhalle Zurich、ワルシャワ・フィルハーモニー、ウィグモア・ホール等、世界各地で演奏。英国王室音楽院の音楽学士・修士課程を首席で卒業。英国と日本を拠点に両国の音楽を国際的に紹介していく活動は、NHK、BBC Radio 3など、さまざまなメディアで紹介され、2013年にディーリアス協会から表彰された。2017年、ディーリアスの晩年の姿を描いた伝説の名著、Delius as I knew him の翻訳を手掛け、訳書『ソング・オブ・サマー ~ 真実のディーリアス』(エリック・フェンビー著、向井大策 監修、アルテスパブリッシング)が出版された。2018年～2020年、ブリティッシュ・エアウェイズ機内番組「Midori Selects」プレゼンター。2020年よりブリティッシュ・カウンシル及び英国著作権管理団体、PRS Foundationのミュージシャン・イン・レジデンスを務める。2021年ミラノ・デザイン・ウィークでは建築家・隈研吾氏の「Bamboo Ring」の音楽を担当。同年、英国政府、芸術・人文科学研究会(Arts & Humanities Research Council, AHRC)の博士課程研究者に選出され、ロンドン大学・ゴールドスミスにて博士課程研究を開始。クィーンズ大学(カナダ)英国キャンパス非常勤講師。

Official Website: [www.midorikomachi.com](http://www.midorikomachi.com)

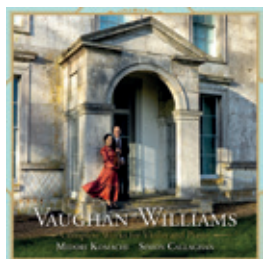


#### 加藤昌則 (ピアノ)

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作品はオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評があり、多くのソリストに楽曲提供、共演ピアニストとしても評価が高い。王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Café シリーズ」(企画・ピアノ)、東京・春・音楽祭「ベンジャミン・ブリティッシュの世界」(企画・構成)、「日生劇場ファミリーフェスティバル」(作編曲・構成)など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。作品は2012年オペラ「白虎」(第11回佐川吉男音楽賞)、2018年「Sixteenth Montage」(セントラル愛知響委嘱作品)ほか、数多くの作品を発表。NHK2020応援ソング「パブリカ」の合唱編曲も手掛けている。

最新CDは2017年発売「PIANOCOLOURS」(エイベックス・クラシックス)。2016年よりNHKFM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティーを担当。2019年より長野市芸術館レジデント・プロデューサーを務める。2022年4月、ひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダーに就任。

Official Website: [www.masanori-music.com](http://www.masanori-music.com)



### NEW ALBUM

『ヴォーン・ウィリアムズ:  
ヴァイオリンとピアノのための作品全集』

小町碧 (Vn) サイモン・キャラハン (Pf)

録音: 2021年7月

小町碧による日本語解説付

MKCD002J ¥2,750(税込)

8月26日発売 販売元: ナクソス・ジャパン



#### 林田直樹 (音楽ジャーナリスト・評論家)

「音楽の友」「レコード芸術」編集部を経て独立。オペラやバレエからクロスオーバーや現代音楽まで、ジャンルにこだわらない自在な取材・執筆活動を行う。著書「クラシック新定番100人100曲」(アスキー新書)、「ルネ・マルタン プロデュースの極意」(アルテスパブリッシング)他。「婦人画報」他に連載中。音楽之友社社外メディア・コーディネーター。